

丹波市特別職報酬等審議会（第3回）記録〈要点記録〉

○日時 令和6年5月28日（火）13：30-15：10

○場所 氷上住民センター つどいの間

○出席者

・委員

大野委員長、田口委員、森田委員、長井委員、石塚委員、常石委員
相根委員、足立委員、中道職務代理者（欠席）、菊本委員（欠席）

・事務局

岡林総務部長、柳田職員課長、上田参事、余田副課長

1 開会

2 会長あいさつ

これまで2回の審議で各委員にご意見をいただいたが、それぞれの立場で意見が相当違う。最終的には、皆さん合意のもとで、方向性を決定していきたいと考えておりますので、本日もよろしくお願いします。

3 丹波市特別職報酬等審議会に関する傍聴規程第4条にかかる報告

傍聴者 0人

4 議事

- ・事務局が第2回の要点記録について説明、確認。
- ・資料19-21について説明。

○資料に関する質問

委 員 資料15では、令和10年ごろから赤字が予想されるのはなぜか。

事務局 普通交付税の合併算定替による特例加算措置や合併特例債が終了し、交付税が減額されることを想定しているためです。ただし、公債費の繰上償還のほか、行財政改革を推し進めており、健全な財政になるよう目指しています。

○各委員の意見

委 員 類似団体の首長の資料もあるが、やはり年収ベースで考えるべきと思っていて、個人的には下げるといことはなしにしても、この厳しい時期に上げるというのは難しく、現状維持で良いと考えます。

委員 民間の状況が変わってきているとは思いますが、将来の財政状況も踏まえ、今この時期なのかなとは思いますが。資料 20 で参考の市を見ると姫路や神戸に近い立地。丹波市はそうではないので、比較対象は篠山や養父がよいのではと思います。

委員 市民感覚を踏まえて考えるのも一つの要素だとは思いますが、報酬は組織への貢献度で考えるべきではないかと思えます。利益だけではなく、責任度合いや将来への期待値も反映すべきで、類似団体と比較すると、丹波市は低いと思えます。議員報酬を上げて、将来を見据え議員の育成も踏まえて考えると、類似団体に見合った額にしても良いと思えます。それをする以上は、将来の財政状況改善への取組など市には期待をしますが。

委員 資料 20 では丹波市は低いように思うが、民間の感覚でいえば、財政状況や今後の見通しなども踏まえて考えるものだと思います。ただ、物価が上がっていることも事実で、その部分は本給以外でカバーできる手当などがあればと考えます。

委員 この時期だからこそ報酬を上げたいと思います。国も中小企業を含め給与の増額を要請しており、経済を回していくことの根本としています。ただ、据置という意見と賛否が分かれるなら両論で答申をだしても良いと思えます。

委員 資料を見ると、将来の市の財政状況について不安を抱いています。類似団体と同列に扱って判断するのは難しいと思っており、給料は高いということはありませんが、著しく低いということもなく、ただ、上げるという状況ではないと思えます。

委員 職員の給料と逆転しそうな状況であるなら上げる必要がありますが、そうでないなら現状維持で良いのではと思います。

委員 答申書は併論ではだめか。

事務局 1つの結論でお願いしたいが附帯意見は可能です。

委員長 県内の特別職の給料と議員の報酬の推移を見ると、前回の審議会開催時以降、据え置きのところがほとんど。でも、期末手当を見てみると、県外はともかく県内だけで見ると丹波市は低い状況にあるように思う。これまで期末手当について審議されたことはあるのか。

事務局 議会は、特別委員会で調査され、議員定数の削減と合わせ、期末手当の見直し、改正をされています。特別職は平成 23 年以降、改正されていません。条例改正の提案を市長自身がされなかったためです。

この審議会では、条例で審議いただく内容が規定されており、特別職の給料と議員の報酬のみとなっています。平成 17 年度と平成 30 年度の審議会でも期末手当の支給率についての審議はされておられません。そのため、前回の答申書で、今後、審議会を開催する際には、期末手当も併せて審議するようにとの附帯意見をいただきました。

委員 議員の報酬も、報酬が低すぎて立候補が少ないという意見もありますが、そうではなく、議員の役割に関心がないのだと思います。

報酬を上げれば出る人が増えるというわけではなく、活動日数から総支給額を考えたときには十分な報酬だと思います。特別職の給料の考え方と同様というのではなく、議員として見ても現状維持でよいと思います。

委員 議員と市長で期末手当の率が違うのはなぜですか。

事務局 議会は、議員提案で条例改正を提案し、承認されましたが、市長が自身の手当を上げるという条例改正を提案されていないので差が出ています。

委員 議員の期末手当の率が市長より高いのが気になります。

委員 総支給額を見たときに市の現状を考えたら据置が良いという意見です。議員も総額で見たとき、全体的な稼働日数から考えても現状維持という意見です。

委員 現状維持が簡単ではあるが、それを超えた意見が審議会では大事だと思います。国から引き上げ要請がある以上、特別職、議員の給料の底上げをして、地域の底上げにつなげる考えが大事で、資料 17 を踏まえ市の状況に近い、類似団体の福知山市や三木市を参考にして考えるべきだと思います。

委員 合併市町とそうでない市町で、そもそも市制施行時から差がある以上、類似団体に合わせるのが良いとは思いません。三木市は議員 16 人で人口 7 万。丹波市は次の議会で 18 人になるが、今なら 20 人。今、そこに合わせるというのは難しいと思います。

委員長 様々な意見が出てまとまりそうにありません。一度、いただいた意見をもとに、事務局とも調整し資料を作成してみますので、それをもとに議論をしていただくのはいかがでしょう。

委員 (賛同)

審議終了

次回 6 月 17 日 (月) 13 : 30 ~ 氷上住民センター つどいの間